

味生地区

人口: 27,055人 (高齢化率26.1%)
世帯数: 12,676世帯

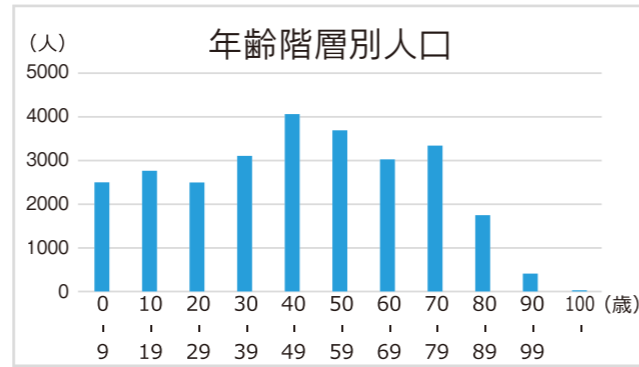


【地区の特色】

味生地区は、松山市の南西部に位置し、南斎院・空港通・北斎院・別府・清住・大可賀・山西の各町から成る静かな住宅地域である。松山市の空の玄関口である「松山空港」に隣接するとともに、貿易促進地区 (FAZ愛媛) の指定に伴い、西部の海岸地帯は近代化学工業が立地する臨海工業地帯である。また、古くから神社・寺院も多く、味生地区の史跡 (古照遺跡) を展示する考古館や小・中・高校を地区内に有する文化と教育の地域である。



南斎院町の長屋門



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会がある 自主防災が各地区で整備されている 人が穏やか 面倒見が良い人が多い 生活がしやすい 病院が多い バスの便が良い (南斎院) 電車 (山西) が通っている 文化財が多い 子ども見守り隊の活動が活発 自活力が強い 社会福祉法人 (施設等) との交流が盛ん 若い人たちの居住が増えた 教育関連施設が充実 町内会長がしっかりしている 賃貸住宅多数、分譲地多数 → 毎月人口増加 子ども会が充実 (味生小・味生第二小1,300人) コミュニティスクールができた (味生小・味生第二小・津田中) レクバレーチーム数20以上 ソフトボール、卓球、グラウンドゴルフも盛ん 地域活動への参加多数 医療福祉が充実 公民館に賞状とトロフィー多数 松山市民体育祭で上位 喫茶店が通い場になっている 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉活動のPR不足 福祉学習へ新たな参加者を増やすための呼びかけ方法 坂道が危険 (軽井沢団地、津田団地) ふれあいセンター前の道がせまい 真情橋 (まごころばし) の道路に歩道が必要 郵便局ポストが少ない 新旧住民問題 山西地区は大雨台風時に浸水の恐れあり 川が危ないところがある 東西の道路が狭い 一部マナーが悪い (ゴミ、犬のフン) 人がいる ゴミ出し 近所付き合いが希薄化 空き家問題がある 共同募金を集めるのが難しい 児童クラブがパンク 子ども会の役員会が担い手不足 農家が減っている (保水力が心配) 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が多くなり地域の役員の担い手がなくなる (仕掛け人が不足) 高齢者の増加による支援 (ゴミ出しなどの生活関連) 障がい者の把握がよくできていない 高齢者に対する理解不足 独居高齢者の居場所 → 安心して本音を話せる場所が必要 空き家問題 ゴミ出しのマナーが徹底されていない 近隣付き合いの希薄化 高齢者と若い世代とのコミュニケーションが少ない 公共の行事 (市民大清掃など) の参加者が少ない (町内による) 児童クラブ問題 (第二小が溢れている) 子ども食堂の安定的な運営

味生地区社会福祉協議会

まごころ 真情で 仲間とはぐくむ 味生のまち つなぐ

構成団体	地区民協・広報委員・町内会長連絡協議会・公民館・まちづくり協議会 自主防災連合会・支所・PTA・食生活推進協議会・高齢クラブ連合会・小学校・中学校 保健推進協力会・保育園・地域包括支援センター・少年警察ボランティア協会
------	---

主な取り組み	活動内容
全国方言ラジオ体操	「食べて笑って体操で味生を元気に」を合言葉に集い場づくりを目指し、味生地区公園を巡っています。
ふれあい教室	手芸教室や、地域包括支援センターを交えた健康教室を定期的を開催しています。
小学生から高齢者へのメッセージカード	一人暮らしの高齢者を対象に、小学生がつくったメッセージカードを持って民生委員が訪問しています。

味生福祉のつどい

地域のサロンや学校、障がい者施設、地域包括支援センターなど様々な関係機関や団体が協働し、福祉啓発を目的としたつどいを開催しています。サロンによる作品発表会や健康相談などを実施しており毎回、大勢の方が来場されます。



<地区社協が目指すもの>

「あなたの笑顔はまちの笑顔」を合言葉に、地域の皆さんが明るく楽しく元気よく生活できるよう支援活動の輪を広げ地域福祉の向上をめざします。

1、まちづくり協議会など関係組織との連携を強化し、多くの課題をより効果的に解決するよう取り組みます。 2、地域のニーズを的確に把握し事業内容や予算に反映させます。 3、高齢者・子育て世代・障がい者の方々の日常生活での困りごとのお手伝いを支援する地域福祉サービス事業の充実・強化に取り組みます。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	
	民生委員	38名	■高齢クラブ	4クラブ
主任児童委員	2名	■子ども会	31団体	
■まち協の設立	平成30年度	■自主防災組織	33組織	

地区社協構成団体や子ども会の数が多い地区です。そのため、地区社協や関係団体の取り組みも子どもに焦点をあてたもの、もしくは子どもと協働しながら活動するものが多くを占め、新旧の子育て世代の住民が地域に馴染みやすい環境であるといえます。また具体的取り組みの一つ「味生福祉のつどい」は、関係機関の連携強化、生活課題の解決に向けた協働実践が形成される場となっており、今後は地域福祉サービス事業の充実や強化につながる取り組みが期待できるでしょう。

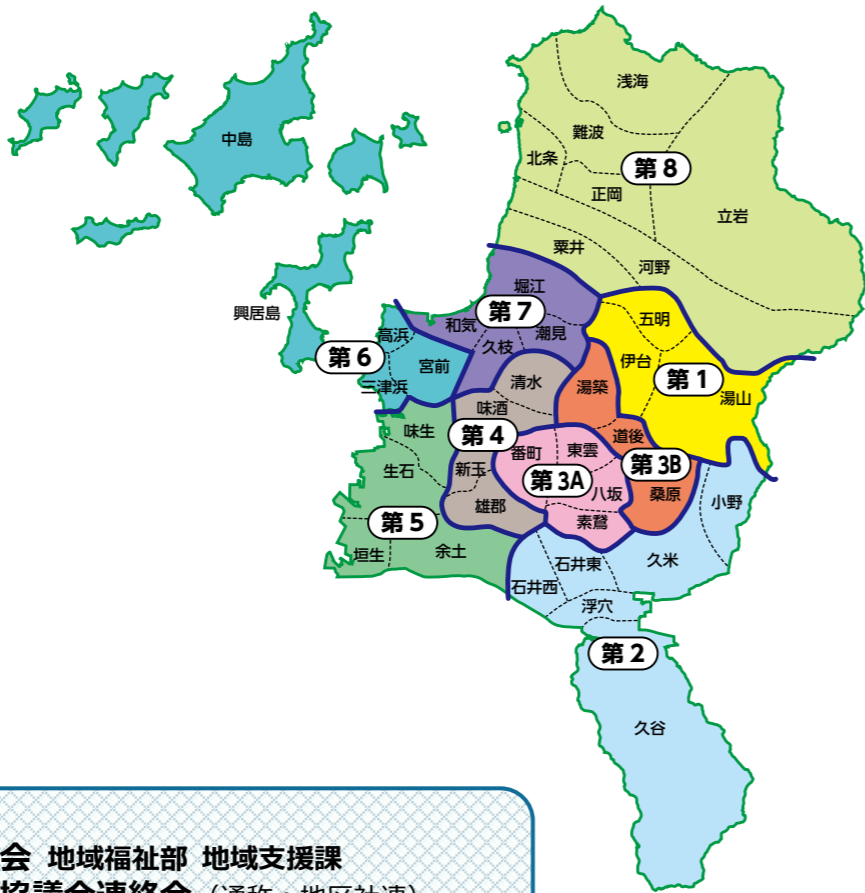


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	興居島地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		中島地区		北条地区
	小野地区		潮見地区		河野地区
	石井東地区		久枝地区		粟井地区
	石井西地区		和気地区		
久谷地区	堀江地区				
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄生地区
	八坂地区		新玉地区		垣生地区
	東雲地区		清水地区		生石地区
素鷲地区	味酒地区	第5	味生地区		
第3 B	道後地区		余土地地区		
	湯築地区		垣生地区		
	桑原地区	生石地区			
第4	雄郡地区	第5	味生地区		
	新玉地区		垣生地区		
	清水地区		味生地区		
第5	味酒地区	第5	味生地区		
	雄郡地区		垣生地区		
	新玉地区		味生地区		



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

五明地区 人口:426人(高齢化率48.8%) 世帯数:225世帯

【地区の概要】
 五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に力を入れている。また、五明太郎などの「五明太郎」が自然発生の「五明川が流れており、清流に憩っている。」

①地区の概要

【地域住民からみた地域の状況】

高齢者が多く、この歳だが健康である。- 家庭内の事情がある程度わかっている
 一人で生活して中々、物を取り合えない。- 移動サービスが来る
 車での通勤 - 通学時間は遅くも20-30分で市内中心部へ行く
 自然が豊かで季節を感じることができる。- 食べ物の心配(コンド)が抱えている
 自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。- 集合タクシーが利用できる
 まちがで、地域団体との連携が取れている。- 集合タクシーが利用できる
 田舎暮らしなど地域の子どもの交流

②地域住民からみた地域の状況

高齢者が多く、この歳だが健康である。- 家庭内の事情がある程度わかっている
 一人で生活して中々、物を取り合えない。- 移動サービスが来る
 車での通勤 - 通学時間は遅くも20-30分で市内中心部へ行く
 自然が豊かで季節を感じることができる。- 食べ物の心配(コンド)が抱えている
 自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。- 集合タクシーが利用できる
 まちがで、地域団体との連携が取れている。- 集合タクシーが利用できる
 田舎暮らしなど地域の子どもの交流

③地区社協の概要と取り組み

福祉学専攻の一環として、五明地区まちなみ協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の発信を目標としています。

④地区内関係団体データ

地区内関係団体の数や活動状況などを把握し、地域福祉推進に活用しています。

⑤地域福祉推進のポイント

大人たちに支えられていると実感できる取り組みをすすめていこう。人と人とのつながりや助け合いを生かして、様々な世代が地域での活動を支えあえる環境づくりが期待されています。

- ①地区の概要**
 - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
 - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
 - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）
- ⑤地域福祉推進のポイント**
 - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏